

粕谷和夫の観察日記より。7月24日に裏高尾の日影沢林道のタマアジサイが咲き出したことを告げました。この写真は8月19日、高尾山1号路であちこちに咲いているタマアジサイの花に「旅をするチョウ・アサギマダラ」がやって来て吸蜜していました。ここでエネルギーを補給して南に向かって飛んで行くものと思われます。

紅葉台



新聞

第257号

2026年

10月23日

発行人：関谷 孝

粕谷和夫の観察日記



武蔵陵（多摩御陵）を久しぶりに散策しました。入口から直ぐの右側の小さな池で**ニホンイシガメ**が甲羅干しをしていました。最近普通にみかける亀と言えばミシシippアカミミガメばかりですが、ここでは日本在来珍しい亀に出会えました。参道はケヤキ並木ですが、その中に**サンゴジュ**も何本もあり、赤い実がとても綺麗でした。

先日、武蔵陵で見たニホンイシガメの写真をアップし



ました。本日8月13日、相模原市立博物館にチョウ展を見に行きました。博物館の前に奇妙な亀が鎮座していました。体は亀・頭は龍の「**太湖神亀**」で中国の無錫市から寄贈されたのだそうです。今月は亀に縁があります。館内に入ると月探査衛星「ひてん」が孫衛星の「はごろも」を装着している模型が目につきました。隣がジャクサ宇宙科学研究所なので、この博物館も宇宙に近いのかも知れない。

8月13日、相模原市立博物館にチョウ展を見に行きました。今は市町村合併で相模原市ですが、旧津久井郡藤野町に「**春の女神・ギフチョウ**」の生息地があります。春の彼岸の頃に成虫が姿を現します。今、このギフチョウが絶滅の危機に瀕しています。原因は幼虫の食草である**カンアオイ**が急増したシカに食べられてしまうこと。写真下がシカに食べられたカンアオイで葉が1枚しか残っていません。NPO日本チョウ類保存協会ではこの地のギフチョウの保全活動のために「クラウドファンディング」をしています。



写真下がシカに食べられたカンアオイで葉が1枚しか残っていません。NPO日本チョウ類保存協会ではこの地のギフチョウの保全活動のために「クラウドファンディング」をしています。



8月19日、高尾山の山頂でカワセミ会の元会員に10年ぶりに会いました。高尾山の花の話題になった時、その人から薬王院の境内で**レンゲショウマ**が咲いていると教えてもらったので、下山の途中でひっそり咲いているレンゲショウマに出会うことができました。

8月19日、高尾山の薬王院の境内のレンゲショウマの花の近くで**フシグロセン**

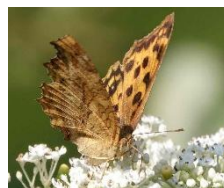


ノウとキキョウも咲いていました。「おまけをもらった」感じでした。緑の濃い真夏の山林で、ぱっと目につく朱赤色の**フシグロセンノウ**です。キキョウは二重の奇形花です。

8月23日、今年も**マツバボタン**が自宅の庭先を飾ってくれました。自宅前を通る人も見てくれていると思います。**ジュエル**という品種で草の状態で越冬することができるので毎年咲きます。大きな花と濃くて明るい色が大好きです。下は拡大写真でオシベの集団の中の雌シベを見つけることができますか。



8月26日、八王子・川町谷戸に8月の野鳥定期カウントに行ったら、早くも**クリの実**が落ちていました。秋の実感です。栗園の近くでは**ヘクソカズラ**も満開、中心部が赤紅色の白い小花の集合です。別名のヤイトバナ、サオトメバナが似合いますね。



秋になるとごく普通に飛んでいる**キタテハ**です。オレンジ色の地に黒い斑点が特徴的なタテハチョウで、翅の縁には大小の突起があり、先がとがっています。8月26日、川町谷戸の**ソクズの花**で吸蜜していました。ソクズは木のようにも見える大型の多年草で、茎の先に白い小さな花をびっしりとつけます。

里子の道草独り言 No.3



皆さん、ツユクサと言えば青色の花を思い出すことでしょうか。ところが白い花の**シロバナツユクサ**があるのをご存知でしたか。めったに見られない珍しい野草です。よく似たのでトキワツユクサと言って南アメリカ原産の帰化植物（外来種）があります。非常に繁殖力が強く環境省の要注意外来生物に指定されています。このシロバナツユクサは高尾にある多摩森林科学園で今年初めて見ました。一日花なのでラッキーでした！



ショウジョウソウは、電柱の隙間から生えているのを見付けました。クリスマスによく見るポインセチアの仲間「サマーポインセチア」とも言われています。葉の形もバイオリン形をしているのも面白いですね。赤く見えるのは葉の付け根で花は緑色でパッとしません。狸（しょうじょう）は空想上の生き物で顔が赤い酒好きな妖怪から名前が来ているのですよ。そんなことを考えると散歩しながら見付ける花に興味を持ちます。